

2019年12月17日

京成電鉄株式会社

さらなる輸送の安全確保のために 異常時総合訓練を実施しました

「車内異常事態対応訓練」と「脱線復旧作業訓練」の二部構成で実施

12月17日(火) 9時～ 高砂保線基地

京成電鉄(本社:千葉県市川市 社長:小林 敏也)では、12月17日(火)9時より、高砂保線基地(東京都葛飾区)において「異常時総合訓練」を実施しました。

これは、12月10日(火)から始まった「年末年始輸送安全総点検運動」の一環として実施したものです。多くのお客様が当社線をご利用になる年末年始に合わせて、重大事故発生時に安全を確保するための対応力・技術力の向上を図ることを目的として、毎年実施しています。

今回は、テロ等対策の強化並びに、先般の台風による倒木被害を踏まえた自然災害に対する対応力の強化のため、車内の不審者に対応することを想定した避難誘導訓練と、線路内の流入土砂と倒木に列車が乗り上げ脱線し、長時間の運転見合わせが発生したことを想定した訓練との、二部構成で実施しました。

訓練は総勢約120名が参加して行われ、障がいをお持ちのお客様・訪日外国人を含めたお客様の避難誘導や、当社と協力会社、葛飾警察署との連携などを確認しました。

なお、訓練の詳細は、次頁の通りです。



訓練の様子(左:視覚障がい者の避難誘導の様子、右:脱線車両の復旧作業の様子)

異常時総合訓練の実施について

1. 日 時 2019年12月17日(火) 9時00分～12時00分

2. 場 所 京成電鉄 高砂保線基地(東京都葛飾区)

3. 参加者 京成電鉄社員、協力会社社員(京成建設)
葛飾警察署 合計約120名

4. 訓練概要 (1) 想定内容

【第一部】

- ① 走行中の車内で刃物等を持った不審者が自殺をすると騒ぎ出す。
- ② 居合わせた当社社員が、車内非常通報器を操作し車掌に通報。
- ③ 列車は緊急停車し、乗務員及び当社社員により不審者から離れるよう、お客様を誘導。
- ④ 最寄り駅まで運行し、到着後お客様をホームへ避難誘導、通報を受けた警察により不審者確保。

【第二部】

- ① 大型台風による大雨の影響で発生した土砂崩れと倒木が発生。
- ② 速度規制にて運行中の運転士は線路の異常に気づき、非常処置を執るも、列車は土砂・倒木に乗り上げ、先頭車両が脱線して停車。
- ③ 対策本部を設置し現場状況を確認、復旧作業に着手。

(2) 訓練内容

- ① 災害対策本部・現地対策本部の設置と関係箇所間の連携
- ② 障害をお持ちのお客様・外国人のお客様を含むご乗車のお客様の避難誘導。
- ③ 避難はしごの組み立て・設置
- ④ 警察との連携
- ⑤ 事故現場における復旧作業

以 上